

まちづくりLabo57 活動の様子

第2回 ~考える~

発行日:令和7年10月29日



活動詳細

日付: 令和7年10月24日(金)
時間: 19時15分~20時30分
場所: 江南市地域交流センター会議室2・3
テーマ: 考える
参加人数: 高校生3名、大学生10名、合計13名

内容

★第2回まちLaboは【考える】がテーマ★

はじめに前回の活動を振り返り、今回のテーマ「考える」に入りました。江南市の企画課長から、「数値でみる江南市」をテーマに、江南市の人口推移や財政状況、RESAS(地域経済分析システム)を用いた分析手法についてお話をいただきました。

コーディネーターからは、イベントや事業を実施する上で、エビデンスを数値で示すことの重要性やコスト意識、稼ぐ視点について話がありました。

その後、ワークシートを使って「住んでみたい！住み続けたい！まちってどんなまち」について一人ひとりが考える時間を持ち、グループで意見交換を行いました。

自分にはなかった視点や価値観を知ることで、意見を交わすことの楽しさや大切さを実感しました。次回は、今回出た意見をフラッシュアップし、全員の前で発表します。

そこからさらに深掘りして、実際の“企画づくり”へつなげます。

参加した学生の声(感想)

- ・江南市の財政状況について知り、自分の住むまちの財政も気になった。今後、自分でも調べてみようと思った。
- ・まちを考えるとき、これまで「目に見える部分」「楽しい部分」「繋がり」に注目しがちだったが、成果や効果などを目に見える形で見せるためにも「数字で見る」「数字で示す」ことの大切さを実感した。
- ・「お金を生む」という観点から、ふるさと納税について考える必要性を感じた。
- ・事業やイベントをするにもお金がかかる、そのお金をどうするかという点では、稼ぐ視点が必要で、返礼品としてラインナップすれば、江南市の魅力も高まるのではないか、また、他市町村に負けない収入アップにつながるのではないか。
- ・江南市をもっと盛り上げるために、市内の施設や駅前、商店街などを活用した繋がりを増やすことが大切だと感じた。
- ・帰りたい町にするという考えも大事だと思った。
- ・次回までに、どんな企画ができるか考えてみたい。

次回
予告

令和7年 11月28日(金)

開催！ 第3回 ~みえてきたこと~

「高校生・大学生」に限り、当日は見学ができます。途中参加も可能です。

※見学は申込不要

詳しくは右の二次元コードより（参加申し込みもこちらから）



まちLabo特設サイト